

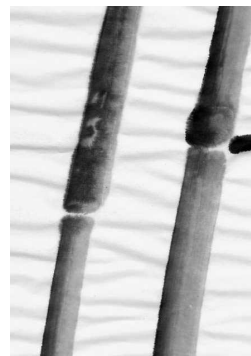
墨で描く 技法



まとめHP

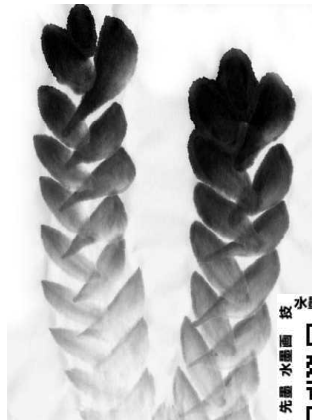


墨の濃淡で遠近感を出す



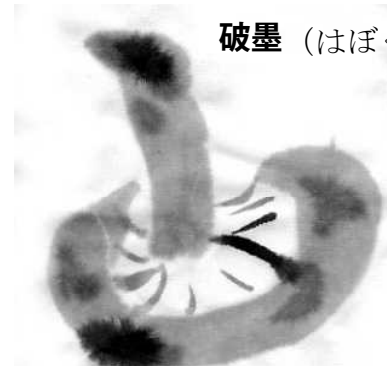
片隈 (かたぐま)

薄いを筆に含ませ、先端に濃い墨を付けて、筆を寝かせて描くと、立体感が出る



先隈 (さきぐま)

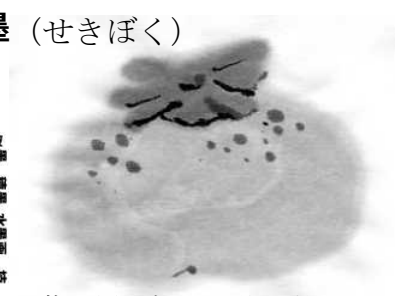
水を筆に含ませ、先端に濃い墨を付けて、筆を連続して点を打つとグラデーションができる。



薄い墨で描き、乾かないうちに、濃い墨で色をつける。墨がにじんだ表現ができる。

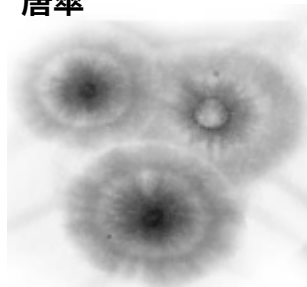


積墨 (せきぼく)

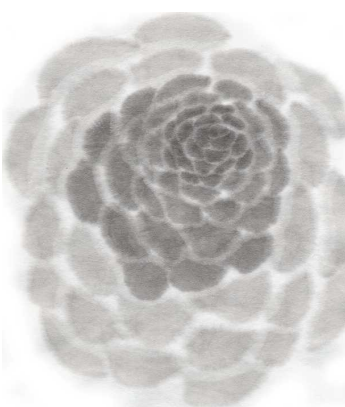


薄い墨で描いた後、乾かして墨を重ねて描く。

唐傘



筋目描き (すじめがき)



濃い墨で点を打ち、その点の中央に水を少しずつしみ込ませる。墨が広がり、放射状の線が現れたり、傘のような形が現れる

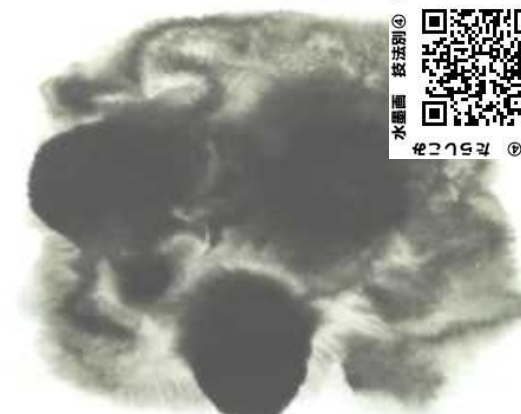
墨破水



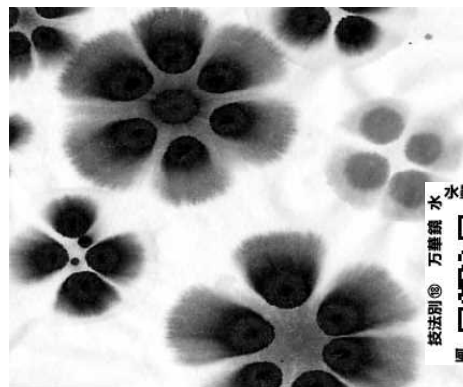
水で描いた後、乾かないうちに墨を重ねて描く。墨がにじみ柔らかい線となる。

たらしこみ

紙を水でたっぷりぬらし、しみこまないうちに墨を落とす。

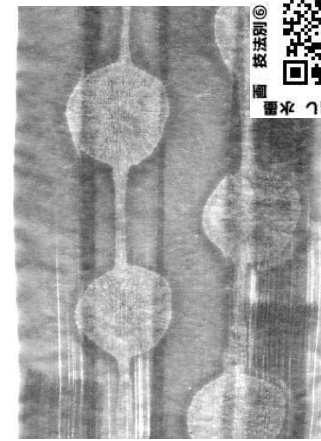


万華鏡



濃い墨で円形に点を打ち、中央に水をしみ込ませる。水が広がると墨も外側に広がる。

浮き出し



その他の技法



筆に水をつけ、先を平にとがらせてとがらせた部分に濃墨

ドリップング スタンピング

ジュースの絵の具と墨を合体させる



墨づくり

破筆

筆の穂先をバラバラにして、紙をなせるように描く。

